

青森県東方沖の地震に伴う津波警報等及び
北海道・三陸沖後発地震注意情報への対応について

陸前高田市防災局防災課

(参考) 三陸沖の地震による津波注意報 11月9日（日）

(1) 避難者数 17人（16世帯） ※地区本部に隣接している指定緊急避難場所等

地区本部及び指定緊急避難場所	避難者数	世帯数	備考
今泉地区コミュニティセンター	1人	1世帯	
自然環境活用センター	1人	1世帯	
小友地区コミュニティセンター	2人	1世帯	
長洞公民館	6人	6世帯	
大野公民館	3人	3世帯	
久保公民館	4人	4世帯	
合計	17人	16世帯	

1 青森県東方沖の地震による津波警報等 12月8日（月）～12月9日（火）

(1) 避難者及び被害状況

ア 避難者数 153人（74世帯） ※指定避難所を兼ねる指定緊急避難場所19ヶ所等
※ 津波警報時避難対象2,524人（1,067世帯）

地区本部及び指定緊急避難場所	避難者数	世帯数	備考
竹駒小学校	9人	4世帯	車避難、車で待機9人
漁村センター	5人	1世帯	車避難
今泉地区コミュニティセンター	45人	21世帯	車避難+車待機22人
陸前高田市コミュニティホール	29人	18世帯	車待機8人
市立高田第一中学校	4人	4世帯	車待機2人
自然環境活用センター	5人	3世帯	車避難、車待機1人
高田東中学校学校体育館	2人	1世帯	車避難
旧高田東中学校学校体育館	1人	1世帯	
小友地区コミュニティセンター	7人	4世帯	車避難、車待機2名
県立野外活動センター体育館	46人	17世帯	車避難が多かった
合計	153人	74世帯	

イ 被害情報 人的被害及び建物被害なし

(2) 避難の傾向

- ・ 避難者のほとんどが市民であり、観光客とみられる避難者は5名程度であった。
なお、7月30日の津波警報の際は、全体の2割程度が市外居住者（観光客等含む）であった。
- ・ 避難者の移動手段は、ほぼ車避難であった。
- ・ 3割近くの避難者が屋内に入らず、駐車場で待機していた。
- ・ 市内における交通渋滞等の報告は無し。

2 青森県東方沖の地震による津波注意報 12月12日（金）

(1) 避難者及び被害状況

ア 避難者数 116人（116世帯）

地区本部及び指定緊急避難場所	避難者数	世帯数	備考
今泉地区コミュニティセンター	1人	1世帯	
陸前高田市コミュニティホール	27人	27世帯	
自然環境活用センター	19人	19世帯	
小友地区コミュニティセンター	48人	48世帯	
広田地区コミュニティセンター	1人	1世帯	
夢アリーナ	14人	14世帯	車避難、車に待機
長洞公民館	4人	4世帯	
県立野外活動センター駐車場	2人	2世帯	車避難、車に待機
合計	116人	116世帯	

イ 被害情報 人的被害及び建物被害なし

3 北海道・三陸沖後発地震注意情報への対応

(1) 注意呼びかけ期間

令和7年12月 9日（火）2時00分から

令和7年12月16日（火）0時00分まで

(2) 市の対応状況

市コミュニティホール集会室に、自主避難所を開設。簡易パーティション、簡易ベッド及び毛布を準備。夜間及び休日においては市職員を配置し、自主避難者の受付、見守り等を実施。また、防災課に職員を増員し、24時間体制で後発地震に警戒。

※ 自主避難所の様子（市コミュニティホール集会室）



(3) 自主避難者数

開設期間中 1名（12月14日夜～15日の朝まで）

(4) 市民への周知

防災行政無線等を使用して、周知を実施。

12月 9日（火）～12月13日（土） 1日3回

12月14日（日）～12月15日（月） 1日2回

(5) 市民からの問合せ

- ・ 問い合わせ件数は比較的少なかった。
- ・ 北海道・三陸沖後発地震注意情報について、良く分かっていないため、自分がどう行動すれば良いのか等を確認するような問い合わせがあった。